

きよつこの紙面

- 2面 テレプラ
- 3面 エンタメ
- 4面 釣り
- 5面 テレビ番組
- 6面 商況、市況
- 7面 コラム、情報

発行所 ©西日本新聞社  
〒810-8721 福岡市中央区天神1丁目4番1号  
092(711)5555 内線

お客さまセンター  
092(711)5331

平日10～18時  
土曜10～14時(日・祝日休み)

購読・配達のご案内(7～20時)  
0120-44-0120

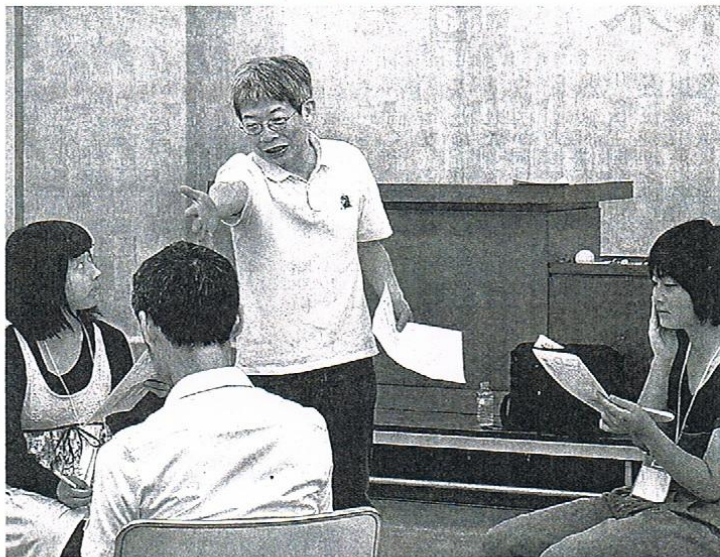
# 西日本新聞

夕刊

2017年(平成29年) 9月19日(火曜日)

平田オリザさんの指導を受ける演劇ワークショップの参加者

＝8月下旬、福岡県筑紫野市



## 小中学校や生涯学習 講座が浸透

# 共同作業 心育む効果

九州で唯一、演劇の専門課程を設ける九州大谷短大(筑後中)の齋藤豊治教授によると「居場所がない」と感じている子や自己肯定感の低い子にも効果的と

九州で唯一、演劇の専門課程を設ける九州大谷短大(筑後中)の齋藤豊治教授によると「居場所がない」と感じている子や自己肯定感の低い子にも効果的と

約20年前から演劇教育の必要性を説く平田さんによると、こうした文化施設での開催のほか、教育的効果を重視し、北海道や京都府、岡山県では市町村の教育委員会が小中学校で授業に導入。福岡県でも筑後市が2011年度から、全14小中学校のうち10校ほどで年3時間程度の授業を実施している。大牟田市も来年度からモデル校を指定して導入する予定だ。

別の班は発達障害児への学校の対応を取り上げた。フリースクールか、特別支援学級か、障害の有無にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育か。メンバーの意見が異なり、結論を導き出すのが難しく、観客に答えを委ねる結末にした。協議会の多田育美会長は「現実の世界も答えは一つじゃない。いろいろな見方、考え方があると気付くことも目的です」と話す。

筑紫野市文化会館で準備がむす劇の発表会と平田さんの1クイイベントは24日午後1時から、同館大ホールで、大人1000円、中学生18歳千円(いずれも当日500円増し)。

筑紫野市文化会館で準備がむす劇の発表会と平田さんの1クイイベントは24日午後1時から、同館大ホールで、大人1000円、中学生18歳千円(いずれも当日500円増し)。

筑紫野市文化会館で準備がむす劇の発表会と平田さんの1クイイベントは24日午後1時から、同館大ホールで、大人1000円、中学生18歳千円(いずれも当日500円増し)。

筑紫野市文化会館で準備がむす劇の発表会と平田さんの1クイイベントは24日午後1時から、同館大ホールで、大人1000円、中学生18歳千円(いずれも当日500円増し)。



## 受け入れ 伝え 判断する

# 演劇 人付き合ひ学ぶ

「えっ、再婚?」「第二の人生、始めようと思つて」。8月下旬、同県筑紫野市の市文化会館練習室。高齢の母の再婚を巡る家族模様を、7人が約10分の寸劇にして演じた。台本も演技も自分たちで話し合いながら考えたものだ。終了後、劇作家の平田オリザさんが「前回よりまよまよしてきましたね」と講評した。

この日は5回目。演出や脚本作りを学びたいと参加した福岡

コミュニケーション力を育むための演劇教育が、小中学校や生涯学習の場で広がっている。目的は演技の上達ではなく、台本作りや稽古を通して多くの人と意見を交わすことで、異なる考えを受け入れる力、自

教師や保護者でつくる「ふくおか教育を考える協議会」が主催するワークショップ。一昨年と昨年の福岡市に続き、今年筑紫野市で7、9月に7回にわたって開かれている。公募に応じた13、71歳の35人が5班に分かれて寸劇を仕上げ、9月24日に披露する。

自分の考えを伝える表現力、効果的に演出する判断力を身に付けること。ネット社会で生身の人付き合いが減る中、福岡県でも効果的な教育として浸透しつつある。

演劇ワークショップ

＝8月下旬、福岡県筑紫野市